

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児急性胃腸炎診療ガイドライン

日本小児救急医学会診療ガイドライン作成委員会（草川功 聖路加国際大学・聖路加国際病院小児科）

日本小児救急医学会、2017 年 6 月発行

Minds 掲載 有

Grading Scale of Strength of Evidence

A (強): 効果の推定値に強く確信がある

B (中): 効果の推定値に中程度の確信がある

C (とても弱い): 効果の推定値に対する確信は限定的である

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

■1 五苓散、柴苓湯、真武湯、黄ゴン湯

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

1) 吉田政己. 五苓散坐薬の効果. 日本小児東洋医学会誌 2003; 19: 13-7.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

2) 西恵子, 高田加壽代, 浅野聡美. 小児の嘔吐に対する五苓散坐剤の効果-ドンペリドン坐剤の比較-. 日本病院薬剤師会雑誌 1998; 34: 1173-6.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

- 3) Fukutomi O, Sakurai S, Nada K, et al. Study of effect of Goreisan enema on acute gastroenteritis of children. *Journal of Traditional Medicine* 2006; 23: 151-2.
- 4) 河村一郎. ウイルス性胃腸炎に伴う嘔吐に対する五苓散および柴苓湯注腸の試み. *小児科臨床* 2007; 60: 422-6.
- 5) 橋本浩. 小児のウイルス性胃腸炎に伴う嘔吐に対する五苓散および柴苓湯注腸投与の比較検討. *漢方医学* 2001; 25: 73-5.
- 6) 吉矢邦彦, 中澤聡子. ロタウイルス感染症に対するツムラ柴苓湯のコントロールスタディ. *小児科臨床* 1992; 45: 1889-91.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。
『解説: 小児急性胃腸炎に対する漢方薬 (Chinese medicine, herb medicine) の臨床研究は、本邦の報告に限られている。小児の胃腸炎に対する漢方療法として、使用経験の報告があるのは、五苓散、柴苓湯、真武湯、黄ゴン湯である。この中では五苓散の報告が多く、主として制吐作用を期待して用いられていた。』

■2 補中益気湯、五苓散

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

吉田政己. 五苓散坐薬の効果. *日本小児東洋医学会誌* 2003; 19: 13-7

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。
『解説: 吉田は同じ漢方薬の補中益気湯の坐薬と五苓散の坐薬を使用して、嘔吐が3回以上あって急性胃腸炎と考えられた34名を対象に、二重盲検法で検討した。坐薬使用後30分で水分を投与し嘔吐・嘔気のないものを有効、嘔吐はないが嘔気のあるものをやや有効、嘔吐したものを無効と判定した。五苓散16例中、有効12例、やや有効2例、無効は2例であったのに対し、18例の補中益気湯投与群では有効5例、やや有効2例、無効11例であり、五苓散が有意に有効であったと報告している。同じ漢方薬の補中益気湯との比較試験で症例数も少ない。』

■3 補中益気湯、五苓散

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

西恵子, 高田加壽代, 浅野聡美. 小児の嘔吐に対する五苓散坐剤の効果-ドンペリドン坐剤の比較-. *日本病院薬剤師会雑誌* 1998; 34: 1173-6.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。
『解説: 西らの報告はドンペリドン坐剤と五苓散坐剤の比較検討である。嘔吐を主訴とする患児を対象に調査日によって薬剤を前もって決めておく方法で割付をした。五苓散坐薬群 13 例、ドンペリドン群 7 例で、効果は坐薬使用 30 分後に水分投与をした後の嘔吐の有無で判定している。五苓散で有効 92.3%に対し、ドンペリドン群での有効は 71.4%で統計学的有意差は認めなかった。この研究は症例数が少なく有効性の判断ができなかった。』

■4 五苓散、柴苓湯

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

橋本浩. 小児のウイルス性胃腸炎に伴う嘔吐に対する五苓散および柴苓湯注腸投与の比較検討. *漢方医学* 2001; 25: 73-5.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。
『解説: 橋本の報告は、五苓散と柴苓湯の 2 種の漢方薬の注腸投与を比較したものである。五苓散群 297 例、柴苓湯群 263 例と多数例での比較で、前者の有効率が 84.8%、後者

が 85.6%で有意差はみられなかった。柴苓湯も急性胃腸炎に有効とされる薬剤であり、五苓散の有効性を評価するものではなかった。』

■5 五苓散、柴苓湯

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

Fukutomi O, Sakurai S, Nada K, et al. Study of effect of Goreisan enema on acute gastroenteritis of children. *Journal of Traditional Medicine* 2006; 23: 151-2.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。

『解説: Fukutomi らの報告は、嘔吐を伴う急性胃腸炎の患者 (0-11 歳) 336 人に対し五苓散を注腸したものである。嘔吐の止まったものを有効として有効率は 79%であった。』

■6 五苓散

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

河村一郎. ウイルス性胃腸炎に伴う嘔吐に対する五苓散および柴苓湯注腸の試み. *小児科臨床* 2007; 60: 422-6.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。

『解説: 河村は 398 例の急性胃腸炎患児に五苓散の注腸を行い全有効率は 89%と報告し、嘔吐回数の少ないものほど薬剤は有効としている。これらは対照をおかない症例集積報告であるため、軽症例が多い可能性があり、自然寛解例があることを考えると、薬剤の有効性を評価する根拠としては不十分である』

■7 柴苓湯

疾患:

小児の急性胃腸炎

CPG 中の Strength of Evidence:

D (とても弱い): 効果の推定値がほとんど確信できない

CPG 中の Strength of Recommendation:

推奨: 急性胃腸炎小児に対する漢方薬の使用は、有効とするだけのエビデンスがなく、現時点で推奨度を決めることができない

引用など:

吉矢邦彦, 中澤聡子. ロタウイルス感染症に対するツムラ柴苓湯のコントロールスタディ.
小児科臨床 1992; 45: 1889-91.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ15-5 急性胃腸炎の小児に対して漢方薬は有効か?』に対して、下記の記載がある。
『解説: 五苓散に次いで報告があるのは、柴苓湯である。古矢らは迅速診断キットを用い、ロタウイルス感染症と診断された症例に、柴苓湯とプラセボを交互に選択して注腸した。両群 20 名ずつで検討したところ、嘔吐回数は柴苓湯群で有意に減少したが、下痢回数に差は認められなかったと報告している。』